

福井から芸妓文化を発信

全国初15花街の芸妓が 福井で夢の競演

～ “花あかりふくい” を 10月28日に開催～

福井芸妓文化を応援

福井芸妓伝統育成会は、芸妓の存続が危ぶまれる中、平成2年に福井商工会議所が中心となり設立された。それから20年以上にわたり、芸妓文化の維持と技能向上を支援している。平成29年度からは芸妓の活動をこれまで以上にPRしようと支援活動を強化。組合と合同で、日頃の稽古の成果を発表する「温習会」や芸妓が同行する観光ツアーを実施し大変好評であった。また、組合を紹介したパンフレットを作成し合同企業説明会に参加するなど、若い年代層へのアプローチも開始した。

全国15花街から参加

こうした中、奈良県で開催された花街体験イベント「ならまち花あかり」に出演した福井芸妓より、地元福井から芸妓文化を全国発信する大規模な舞台公演を開催したいと、福井芸妓伝統育成会に相談があった。こうして、地元福井の芦原温泉、小



イチチョライ節では観客の手拍子で、会場が一体に

浜をはじめ、秋田、新潟、石川、東京、愛知、岐阜、奈良、愛媛の花街に呼びかけ、10月28日ハピリンホールに15花街から総勢42人の芸舞妓が集結する「花あかりふくい」の開催に至った。

艶やかな舞いと美食で 参加者は大満足

「花あかりふくい」は、芸舞妓の三味線、太鼓、笛、唄、舞などを楽しめる舞台公演「ふくいおどり」と福井市内の料亭でお客様体験できる「浜町宴」の二部構成。約390の観客席は計2回の公演とも満席となった。普段の料亭の宴席では、男性のお客様が中心だが、この日の観客の大半は女性。日頃、芸

妓と接点のない層に唄・舞を披露する絶好の機会となった。公演の「フィナーレ」では、42人の芸舞妓が羽衣をまとい、今回のために作曲された幻想的な音楽の中、総踊りを披露した。

第二部の浜町宴は、福井市浜町の料亭（開花亭、かき恭、香爐園、山楽、やま田）で開催し約190名が参加した。5つの料亭には、芸舞妓がチームに分かれ交代で訪れ、宴席に華を添えた。参加者同士懇談しながら料理に舌鼓を打ち、終始賑やかな雰囲気の中、「浜町宴」は終了した。



42人の芸舞妓が舞い観客を魅了したフィナーレ

「お問い合わせ」
福井芸妓伝統育成会

TEL 0776(33)8253